

越谷市制
60周年記念

こしがや能

春の調べ

平成三十年

※雨天決行 (荒天時は中止にする)
(場合がございませ)

四月三十日(月・祝)

午後一時三十分 開場 午後二時 開演

会場 越谷市日本文化伝承の館
こしがや能楽堂



能「田村」より (撮影：前島久男)



三宅 右矩



森 常太郎



高梨 良一



関根 知孝

おはなし 高梨良一
舞囃子 鶴亀 高梨良一
狂言 末広かり 三宅 右矩
能 田村 関根 知孝
替装束 森 常太郎

料金 一般 3,000円 学生 1,500円 (全席自由席・消費税込)

※能楽堂友の会会員・サンシティメンバーズ10%割引
※団体でご購入の場合は割引がございませので、お問合せください。
※未就学児童の入場はお断り申し上げます。
※前売券は250枚販売。当日券は100枚販売予定。
(当日券は天候により販売を中止する場合がございます。)



お問い合わせ サンシティホール ☎048-985-1112

プレイガイド サンシティホール……………☎048-985-1112
こしがや能楽堂……………☎048-964-8700
東武よみうりチケットセンター…☎048-987-0553

アクセス ●東武スカイツリーライン越谷駅東口北側ロータリーより花田循環又は市立図書館行きバス「花田苑入口」より下車徒歩3分
●東武スカイツリーライン新越谷駅/JR武蔵野線南越谷駅北口ロータリーより花田行き又は市立図書館行きバス「花田苑入口」より下車徒歩3分

◆チケットをお持ちの方は、公演当日、日本庭園「花田苑」に無料で入園できます。
◆駐車場には限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共の交通機関をご利用ください。
◆会場内は、飲食が出来ませませ。
◆能楽堂の「能舞台」および「観覧席の一部」は屋外の施設となりますので、防寒及び暑さ対策にご留意ください。

無料 50名様 ※要予約 (先着順)
越谷市茶道協会 添釜 茶席のご案内
12時30分～13時10分
1部 12:30～12:50 (25名)
2部 12:50～13:10 (25名)
※事前予約となりますので、ご希望の方は下記の電話番号までご連絡ください。尚、1部・2部のご希望は先着順とさせていただきます。
越谷コミュニティセンター・文化事業課 ☎048-985-1113

【お申込み】
4月8日(日)より、電話予約のみ
《申込時間 9:00～17:45》
※添釜終了後は、開場列にお並びいただけます。予めご了承ください。

「こしがや能 春の調べ」のチケットをお持ちの方が対象です。

春の調べ

平成三十年
四月三十日(月・祝)
午後一時三十分開場 午後二時開演

おはなし 高梨 良一

【仕舞】

番組 高梨 良一

杜 若 高梨 万里

鞍馬天狗 岡庭 祥大

【舞躰子】

鶴 亀

高梨 良一

大鼓 大倉栄太郎 太鼓 林 雄一郎
小鼓 森 貴史 笛 八反田智子

地謡 渡邊 洋子 高梨 万里
武田 崇史 藤波 重孝
清水 義也

【狂言】

末広かり シテ(大名) 三宅 右矩

アド(太郎冠者) 三宅 近成
小アド(すっぱ) 高澤 祐介
後見 金田 弘明

— 休憩十五分 —

【能】

前シテ(童 子) 関根 知孝
後シテ(坂上田村麻呂)

村 替装束 ワキ(旅僧) 森 常太郎
ワキツレ(從僧) 館田 善博
ワキツレ(從僧) 則久 英志

大鼓 大倉栄太郎 笛 八反田智子
小鼓 森 貴史

間(濟水寺西頭ノ老) 前田 晃一

後見 清水 義也
高梨 良一

地謡 近藤 豊 北浪 貴裕
武田 崇史 藤波 重孝
高梨 万里 祥照 浅見 重好
岡庭 祥大

附祝言

(終了予定 午後四時五十分)

演目紹介

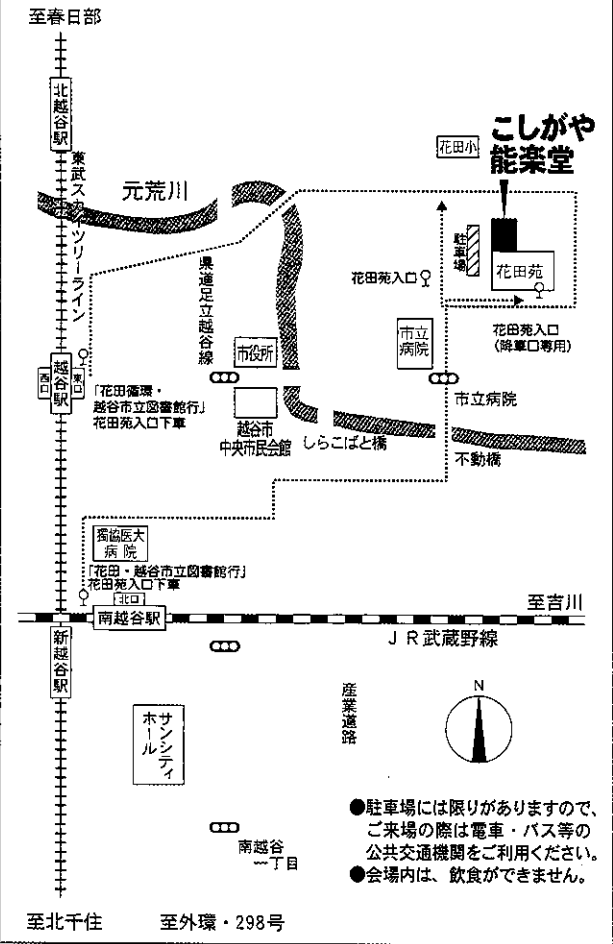
狂言「末広かり(すえひろがり)」

ある果報者(金持ち)が、目上の人に「末広がり」というものを贈るため、家来の太郎冠者を呼びつけ都へ買いに行くように命じます。都に着いた冠者は、末広がりとは何か、どこにあるのかを聞かなかったことに気付いて、困った拳句、物売りを真似て「末広がりを買おう」と呼び歩きます。そこにすっぱ(詐欺師)が現れ、言葉巧みに古傘を売りつけます。主人の注文通りの品が手に入ったと思ひ込み喜ぶ冠者に、すっぱは主人の機嫌を直す物を買えます。帰宅した冠者が得意げに報告すると、あきれた主人は冠者を追いつきます。思案した冠者が、すっぱに教わった物を買うた、足で拍子をとると、主人もつり込まれ機嫌を直します。

能「田村(たむら)」

東国の僧が都見物に出て、弥生なかに清水寺に着き、爛漫と咲く黄昏時の桜花に見とれていると、簪を手にした一人の童子が現れ、木陰を清めます。そこで僧が、この寺の来歴を尋ねると、それに応じて、清水寺建立の縁起を詳しく語ります。またあたりの名所を教え、ともに桜月夜の風情を楽しみます。その様子が常の人とはどうも違うのをいぶかした僧が、童子に名を尋ねると、我が名を知りたくば帰る方を見て下さいと、田村堂の内陣へと姿を消します。(中入)僧が夜もすがら、桜の木陰で経を読んでいると、威風堂々たる武将の姿の坂上田村麻呂の霊が現れます。そして勅命を受けて、鈴鹿山の賊を討伐すべく軍を進めたが、合戦の最中に千手観世音が出現し、その助勢によって敵をことごとく滅ぼした有様を物語っていきます。

「こしがや能楽堂」案内図



●駐車場には限りがありますので、ご来場の際は電車・バス等の公共交通機関をご利用ください。
●会場内は、飲食ができません。